

臨床実習

JR 広島病院

緩和ケア科

《実習目標》

がん診療を推進する上で、緩和ケアの役割は重要である。がん対策基本法、がん対策推進基本計画など、国も現場医師に対し、その認識を強く求めている。命ではなく生に重きを置き、より広い視野で病に苦しむ人と対峙する姿勢が望まれるところである。そこで、多くの病院では緩和ケアチームを配置し、がん診療に平行して関わりを持つことを進めている。緩和ケア病棟においては、もっと踏み込んだ状況において、強い痛みを持つ方々へ全人的アプローチを果たすべく設備の環境も含め工夫をしている。

当科においては、多職種（宗教家、臨床心理士、ソーシャルワーカー、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、看護助手、看護師、医師など）による関わりを目の当たりにしてもらい、医師以外の支援の重要性を実感してもらいたい。

広島では設置の少ない緩和ケア病棟のひとつとして、東区のみならず県外からも要望が集まっている。すなわち、病に苦しむ多くの方に出会える（教えを頂く）機会を持てる環境にある。これからの超高齢化とがん社会の中で、病でなく生きることに関わるかを考える機会にしてもらえれば幸いである。

《到達目標》

- ① 患者の問診、身体診察を適切に行い、画像や検査結果との関連を理解する。
- ② 患者、家族と関わる中で苦悩はどこにあるのか、何を人生の望みとしているのか等のアプローチをする。
- ③ 身体的苦悩に対し、適切な判断と対応策を提案する。
- ④ 精神的苦悩はどこにあるのかアプローチし、多職種との連携を通して緩和する方法を探る。
- ⑤ 患者、家族の社会的ニーズを探る中で、それを果たすための手段の一つとして社会支援について知識を広める。
- ⑥ 受け持ち患者の経過、全人的苦痛（身体、精神、社会的、スピリチュアル）への対応策を総括し、研修中に知りえた知見・感想を含めたレポートを指導医に提出する。

《実習内容と日程》

月曜日

- 8:00－ 8:30 オリエンテーション（初日のみ）
- 8:30－ 9:00 カンファレンス（7F 詰め所、指導医）
- 9:00－12:00 新入院症例診察等
- 13:00－17:00 講義、病棟処置など

火曜日

- 8:30－ 9:00 カンファレンス（7F 詰め所、指導医）
- 9:00－12:00 新入院症例診察等
- 13:00－17:00 外来（27 診、指導医）

水曜日

- 8:30－ 9:00 カンファレンス（7F 詰め所、指導医）
- 9:00－12:00 新入院症例診察等
- 13:45－17:00 多職種カンファレンス（症例のプレゼンテーション）
＋講義（7F 詰め所）

木曜日

- 8:30－ 9:00 カンファレンス（7F 詰め所、指導医）
- 9:00－12:00 新入院症例診察等
- 13:00－17:00 イベント＋講義（7F 詰め所）

金曜日

- 8:30－ 9:00 カンファレンス（7F 詰め所、指導医）
- 9:00－12:00 新入院症例診察等
- 13:00－17:00 外来（27 診、指導医）

《評価項目のポイント》

下記ポイントを評価する。

- ① 遅刻・出欠席および実習への積極的参加の有無
- ② 緩和ケア概念の理解と具体的知識の獲得
- ③ 適切な身だしなみ、礼節、患者への診療態度
- ④ 患者および家族との信頼関係の構築力
- ⑤ 受け持ち患者のレポートの内容や症例のプレゼンテーション能力
- ⑥ 指導の受け入れ能力、行動内容